

# 令和6年2月記者会見 次第

日時：令和6年2月6日（火）10時30分

場所：市川市役所第1庁舎5階 第4委員会室

## （主な会見項目）

### 1. 令和6年2月市川市議会定例会提出議案について（総務部・財政部）

#### （1）条例関係

- ①市川市敬老祝金支給条例の一部改正について（福祉部） . . . 1
- ②市川市地域共生センターの設置及び管理に関する条例の制定について（福祉部） . . . 2
- ③市川市介護保険条例の一部改正について（福祉部） . . . 3

#### （2）補正予算

- ①物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（企画部） . . . 4

#### （3）当初予算

- ①ゴールドシニア事業（福祉部） . . . 5
- ②子育て世帯同居・近居スタート応援補助金（こども部） . . . 6
- ③空家対策事業（街づくり部） . . . 7
- ④カーボンニュートラル関連事業（環境部・市長公室・街づくり部） . . . 8、9  
－ロードマップ、地域新電力会社、各種補助事業
- ⑤クリーンセンター整備事業（環境部） . . . 10
- ⑥避難所環境整備事業（危機管理室） . . . 11

⑦都市計画マスタープラン推進事業（街づくり部）	・・・	12
⑧本八幡駅北口駅前地区市街地再開発事業（街づくり部）	・・・	13
⑨埋蔵文化財調査事業（下総国府調査）（生涯学習部）	・・・	14
⑩美術館建設準備事業（文化国際部）	・・・	15
⑪デジタル地域通貨推進事業（経済観光部）	・・・	16

## （その他のお知らせ）

1. 梨の花摘みボランティア募集について（経済観光部）	・・・	17
2. 東山魁夷記念館特別展「写真家・寺島照夫が捉えた一時代の象徴」（文化国際部）		
	3/2～3/24	・・・ 18
3. いちかわ真間川堤桜ウィーク2024（経済観光部）	3/16～4/7	・・・ 19
4. 江戸川・水フェスタinいちかわ（街づくり部）	6/1	・・・ 20
5. 第40回市川市民納涼花火大会（経済観光部）	8/24	・・・ 21
6. 市制施行90周年記念事業（市長公室・企画部）		



# 令和6年2月定例記者会見

日時：令和6年2月6日（火）10時30分  
場所：市川市役所第1庁舎5階 第4委員会室

## 主な会見項目

タイトル	市川市敬老祝金支給条例の一部改正について																																				
内容	<p><b>1. 概要</b> 高齢化の進展や平均寿命の延伸を踏まえ、時代に即した事業への転換を図るため、支給対象年齢を見直す条例の一部改正を行うもの</p> <p><b>2. 内容</b> (1) 支給対象年齢の見直し 現在：80歳、88歳、99歳、100歳、101歳以上 見直し後：88歳、100歳、101歳以上 (80歳及び99歳を対象外とするもの)</p> <table border="1" data-bbox="488 963 1034 1321"> <thead> <tr> <th colspan="4">令和6年度支給見込み人数で比較</th> </tr> <tr> <th colspan="2">見直し前</th> <th colspan="2">見直し後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80歳</td> <td>4,338人</td> <td>80歳</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>88歳</td> <td>2,242人</td> <td>88歳</td> <td>2,242人</td> </tr> <tr> <td>99歳</td> <td>167人</td> <td>99歳</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>100歳</td> <td>92人</td> <td>100歳</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>101歳以上</td> <td>148人</td> <td>101歳以上</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,987人</td> <td>合計</td> <td>2,482人 (▲4,505人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>77,620千円</td> <td></td> <td>50,920千円 (▲26,700千円)</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度支給見込み人数で比較				見直し前		見直し後		80歳	4,338人	80歳	対象外	88歳	2,242人	88歳	2,242人	99歳	167人	99歳	対象外	100歳	92人	100歳	92人	101歳以上	148人	101歳以上	148人	合計	6,987人	合計	2,482人 (▲4,505人)		77,620千円		50,920千円 (▲26,700千円)
令和6年度支給見込み人数で比較																																					
見直し前		見直し後																																			
80歳	4,338人	80歳	対象外																																		
88歳	2,242人	88歳	2,242人																																		
99歳	167人	99歳	対象外																																		
100歳	92人	100歳	92人																																		
101歳以上	148人	101歳以上	148人																																		
合計	6,987人	合計	2,482人 (▲4,505人)																																		
	77,620千円		50,920千円 (▲26,700千円)																																		
問い合わせ先	福祉部 地域包括支援課 047-712-8556																																				

<p>タイトル</p>	<p>市川市地域共生センターの設置及び管理に関する条例の制定について</p>
<p>内容</p>	<p><b>1. 概要</b>          地域共生社会の実現に寄与するため、社会参加や介護予防の機能と役割を担う多世代型の施設として「市川市地域共生センター」を開設するため、新たに条例を制定するもの</p> <p><b>2. 内容</b></p> <p><b>(1) 主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等の社会参加の機会の創出に関すること</li> <li>・市民等の介護予防の推進に関すること</li> </ul> <p><b>(2) 今後のスケジュール</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月市議会定例会へ条例（案）の提出</li> <li>・令和6年4月1日施行、開設を予定</li> </ul> <p><b>(3) 事業展開イメージ（参考）</b></p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>福祉部 地域共生課 047-712-8518</p>

<b>タイトル</b>	市川市介護保険条例の一部改正について
<b>内容</b>	<p><b>1. 概要</b>  第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）の策定にあたり、保険料率を見直す等の必要があるため市川市介護保険条例の一部を改正するもの。</p> <p><b>2. 改正事由</b>  （1）介護保険事業計画の策定  3年を1期とする計画の策定にあたり、計画期間における介護給付費等対象サービス見込量等から、介護保険事業に要する費用を、対前期47.3億円増の1,018.2億円と見込む。</p> <p>（2）市川市介護保険条例の改正  介護保険財政の均衡を保つ保険料率とするため、保険料率等を見直す。</p> <p><b>3. 改正のポイント</b>  国の保険料見直しの考え方を踏襲し、低所得者等の保険料上昇に配慮した見直しを行う。  保険料基準額は、5,800円から400円増の6,200円。</p> <p>①低所得者の乗率の引下げ  ②平均所得金額以下の者の乗率の据え置き  ③高所得者の乗率の引上げ、所得段階を多段階化（17→20段階）</p>
<b>問い合わせ先</b>	福祉部 介護保険課 047-712-8540

<b>タイトル</b>	<b>物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金</b>																				
<b>内容</b>	<p><b>1. 概要</b></p> <p>本交付金については、令和5年11月2日閣議決定された「デフレ完全脱却のための総合経済対策」として物価高から国民生活を守るため、令和5年11月29日付で交付上限額が通知されたものである。</p> <p>地域の実情に応じ、きめ細やかな取組へ活用できることから、令和5年6月補正で計上した、障害福祉サービス事業所等への原油価格・物価高騰対策支援金をはじめとした事業の継続分（事業者エネルギー価格等高騰対策支援金は継続・拡大）、</p> <p>また、物価高騰の影響を受けた市民が外出や買い物を控えることが想定されるため、公共交通機関の経費助成を行う、ゴールドシニア事業（バス・タクシーチケット）の定員超過分、ガソリンなどの価格高騰により交通手段等に影響を受けている生活者等を支援するため、電気自動車の購入費助成に係る事業、家庭の省エネへの取組に関して、窓・ドアの断熱化工事への助成に係る事業へ新たに充当するもの。</p> <p><b>2. 充当事業</b></p> <table border="0"> <tr> <td>（1）障害福祉サービス事業所等原油価格・物価高騰対策支援金</td> <td>8,923千円</td> </tr> <tr> <td>（2）介護サービス事業所原油価格・物価高騰対策支援金</td> <td>35,659千円</td> </tr> <tr> <td>（3）貨物運送事業者燃料費高騰対策支援金</td> <td>107,280千円</td> </tr> <tr> <td>（4）公共交通事業者原油価格高騰対策支援金</td> <td>4,009千円</td> </tr> <tr> <td>（5）事業者エネルギー価格等高騰対策支援金</td> <td>157,334千円</td> </tr> <tr> <td>新（6）ゴールドシニア事業（バス・タクシーチケット）交付金</td> <td>5,791千円</td> </tr> <tr> <td>新（7）電気自動車導入促進事業</td> <td>6,706千円</td> </tr> <tr> <td>新（8）窓・ドア断熱リフォーム臨時補助金</td> <td>4,007千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td><hr/></td> </tr> <tr> <td></td> <td>329,709千円</td> </tr> </table>	（1）障害福祉サービス事業所等原油価格・物価高騰対策支援金	8,923千円	（2）介護サービス事業所原油価格・物価高騰対策支援金	35,659千円	（3）貨物運送事業者燃料費高騰対策支援金	107,280千円	（4）公共交通事業者原油価格高騰対策支援金	4,009千円	（5）事業者エネルギー価格等高騰対策支援金	157,334千円	新（6）ゴールドシニア事業（バス・タクシーチケット）交付金	5,791千円	新（7）電気自動車導入促進事業	6,706千円	新（8）窓・ドア断熱リフォーム臨時補助金	4,007千円		<hr/>		329,709千円
（1）障害福祉サービス事業所等原油価格・物価高騰対策支援金	8,923千円																				
（2）介護サービス事業所原油価格・物価高騰対策支援金	35,659千円																				
（3）貨物運送事業者燃料費高騰対策支援金	107,280千円																				
（4）公共交通事業者原油価格高騰対策支援金	4,009千円																				
（5）事業者エネルギー価格等高騰対策支援金	157,334千円																				
新（6）ゴールドシニア事業（バス・タクシーチケット）交付金	5,791千円																				
新（7）電気自動車導入促進事業	6,706千円																				
新（8）窓・ドア断熱リフォーム臨時補助金	4,007千円																				
	<hr/>																				
	329,709千円																				
<b>問い合わせ先</b>	企画部 企画課 047-712-8591																				

## 令和5年度一般会計2月補正予算（第9号）の主なポイント

今議会に提案する補正予算は、国の補正予算等への対応として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した生活者・事業者に対する支援などを行うほか、その他の必要となる事業費について増額する一方、執行差金等について減額補正を行うものです。

### ◎歳出予算

#### （増額補正）

<b>1. 国の補正予算等への対応</b>	<b>1,407,809 千円</b>
<b>(1) 物価高騰の影響に対する支援【繰越明許費】</b>	<b>329,709 千円</b>
※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー分）548,480千円のうち 329,709千円を活用	
※残額（218,771千円）については、令和6年度当初予算で活用	
<b>(ア) 生活者支援</b>	<b>全額国負担 16,504 千円</b>
① 電気自動車導入促進事業【補助金等】	6,706 千円
② ゴールドシニア事業（チケット75）【交付金】	5,791 千円
③ 窓・ドア断熱リフォーム臨時補助金【補助金等】	4,007 千円
<b>(イ) 事業者支援</b>	<b>全額国負担 313,205 千円</b>
① 事業者エネルギー価格等高騰対策支援金【交付金等】	157,334 千円
② 貨物運送事業者燃料費高騰対策支援金【交付金等】	107,280 千円
③ 介護サービス事業所原油価格・物価高騰対策支援金【交付金等】	35,659 千円
④ 障害福祉サービス事業所等原油価格・物価高騰対策支援金【交付金等】	8,923 千円
⑤ 公共交通事業者原油価格高騰対策支援金【交付金】	4,009 千円
<b>(2) 都市基盤整備・施設の老朽化対策等【繰越明許費】</b>	<b>1,078,100 千円</b>
① 小・中学校営繕事業【改修工事費】	933,000 千円
② 自転車走行空間ネットワーク整備事業【改良工事費】	145,100 千円
<b>2. その他必要となる事業費の増額補正</b>	<b>4,388,667 千円</b>
<b>(1) 社会保障関係経費</b>	<b>2,679,202 千円</b>
① 国民健康保険特別会計繰出金	1,336,660 千円
② 障害児通所給付事業【その他扶助費】	400,542 千円
③ 障害者自立支援給付事業（介護給付費及び訓練等給付費）【その他扶助費】	300,000 千円
④ 生活保護扶助費	200,000 千円
⑤ 私立保育園運営費【委託料】 他2事業	442,000 千円
<b>(2) 国県への償還金</b>	<b>1,381,120 千円</b>
① 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例国庫交付金等償還金	574,981 千円
② 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金償還金	283,671 千円
③ 新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金償還金	172,852 千円
④ 子ども・子育て支援国庫交付金償還金 他19事業	349,616 千円
<b>(3) 県事業等への負担金</b>	<b>48,461 千円</b>
① 都市計画道路事業負担金	24,815 千円
② 排水路整備事業【負担金】 他2事業	23,646 千円

<b>(4) その他</b>	<b>279,884 千円</b>
① 下水道事業会計繰出金	179,494 千円
② 情報システム運用管理事業（マイナンバー）【委託料】	38,136 千円
③ 福祉基金事業【積立金】 他22事業	62,254 千円

**<継続費：変更>**

・地域コミュニティゾーン子ども施設整備事業（ぴあパーク妙典） 令和4年度から令和6年度  
 年割額の変更（令和6年度）784,700千円 ⇒ 801,700千円  
 総額の変更 1,937,000千円 ⇒ 1,954,000千円（+17,000千円）

**(減額補正)**

**3. 執行差金等の減額 ▲ 3,205,835 千円**

① 予防接種事業（新型コロナウイルス）【通信運搬費、委託料、借上料】	▲ 1,324,388 千円
② 情報システム統括事業【手数料、委託料、使用料、賃借料】	▲ 206,138 千円
③ 介護施設等整備事業【補助金】	▲ 164,069 千円
④ 老人福祉施設整備費補助金	▲ 154,000 千円
⑤ デジタル地域通貨推進事業【委託料、負担金】	▲ 130,900 千円
⑥ 後期高齢者医療事務費【負担金】 他92事業	▲ 1,226,340 千円

**【歳出予算集計】**

**(増額補正)**

1. 国の補正予算等への対応	1,407,809 千円
2. その他必要となる事業費の増額補正	4,388,667 千円
計	5,796,476 千円 (A)

**(減額補正)**

3. 執行差金等の減額	▲ 3,205,835 千円
計	▲ 3,205,835 千円 (B)

<b>一般会計補正予算総額 (A) + (B)</b>	<b>2,590,641 千円</b>
-----------------------------	---------------------

**◎歳入予算**

① 市税	712,000 千円
② 法人事業税交付金	64,000 千円
③ 地方消費税交付金	220,000 千円
④ 地方特例交付金	6,947 千円
⑤ 分担金及び負担金	▲ 1,556 千円
⑥ 使用料及び手数料	59,152 千円
⑦ 国庫支出金	264,527 千円
⑧ 県支出金	274,122 千円
⑨ 財産収入	▲ 4,718 千円
⑩ 寄附金	22,810 千円
⑪ 繰入金	▲ 3,750 千円
⑫ 繰越金	145,271 千円
⑬ 諸収入	271,136 千円
⑭ 市債	560,700 千円

<b>歳入補正予算総額</b>	<b>2,590,641 千円</b>
-----------------	---------------------



# 令和6年度当初予算フレーム

## 一般会計の予算規模

1,768億円

前年度比 (+100億円、+6.0%)

### 特別会計

797億9,500万円

前年度比 (+7億6,800万円、+1.0%)

(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療)

### 公営企業会計

229億1,900万円

前年度比 (+3億8,900万円、+1.7%)

(下水道事業会計)

## 予算総額

2,795億1,400万円

前年度比 (+111億5,700万円、+4.2%)

○一般会計の予算規模が拡大した主な要因は、**歳出面**では、新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費が皆減となったものの、人事院勧告等による人件費の増や、児童手当の拡充等による扶助費の増、情報システム標準化に係る経費の増など、**国の制度改正等に伴う経費が増額**となったことに加え、**既に着手している建設事業の進捗等により事業費が増**となったことによる。

○また、**歳入面**では、増収が見込まれる**市税収入**において**個人市民税の定額減税が実施されるもの**、**減税に伴う減収相当額(約▲23億円)**が**地方特例交付金として全額補てん**されることや、歳出予算の伸びに伴い**国・県支出金**や、**諸収入**、**市債**などの**特定財源が増額**となったことが拡大の要因となっている。

○新年度の当初予算は、市税収入その他の財源を活用し、人件費や扶助費など**増加する義務的経費**への対応を図りつつ、**斎場の建替え**、**子育て世帯への支援**、**デジタル地域通貨推進事業**をさらに進めるとともに、「**市制施行90周年記念事業**」、「**脱炭素社会・カーボンニュートラルの推進**」、「**高齢者等への支援**」など、幅広い分野にわたり予算を配分したほか、**グリーンセンターの建替えに向けた予算化**や**公共施設の老朽化対応の財源確保のため基金への積立て**を行うなど、**将来を見据え強固で安定した財政基盤の維持に努めること**で、諸課題の解決に向け持続可能な行財政運営を確立するための予算とした。

## 一般会計予算の概要

### 歳入予算の状況

市税	904億4,200万円 (+5億円、+0.6%) 個人市民税については、引き続き納税義務者数の増加や平均給与と収入の伸びが見込まれるものの、一時的な措置として、定額減税が実施されることで減収となる一方、 <b>固定資産税・都市計画税</b> において、評価替えによる増収が見込まれることから、市税全体では増となった。
地方特例交付金	27億7,500万円 (+23億円、+456.1%) 個人市民税からの <b>定額減税</b> による減収相当額について、地方特例交付金として国から全額補てんされることにより、大幅な増となった。
国庫支出金	358億3,826万円 (+7億円、+2.0%) <b>新型コロナウイルスワクチン接種経費</b> に対する国庫支出金が <b>皆減</b> となるものの、 <b>児童手当の拡充</b> や、 <b>保育所等運営費</b> 、 <b>障がい者支援</b> 、 <b>生活保護</b> などの <b>扶助費の伸び</b> に伴うもののほか、 <b>物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金</b> を活用したことにより増となった。
諸収入	65億8,749万円 (+25億円、+61.4%) <b>デジタル地域通貨推進事業の本格実施</b> に伴う通貨販売収入の増や、 <b>情報システム標準化</b> に係る <b>経費の増加</b> に伴い補助額が増となった。
市債	65億9,060万円 (+33億円、+98.4%) <b>国府台公園野球場整備工事</b> 、 <b>八幡分庁舎建替え</b> や <b>びあばーく妙典こども施設整備</b> など、既に着手している大規模な建設事業や、 <b>都市基盤施設の老朽化対応</b> 、 <b>計画的な整備の進捗</b> 等により、 <b>建設事業費が増</b> 加したことで <b>市債の発行が増</b> となった。

### 歳出予算の状況

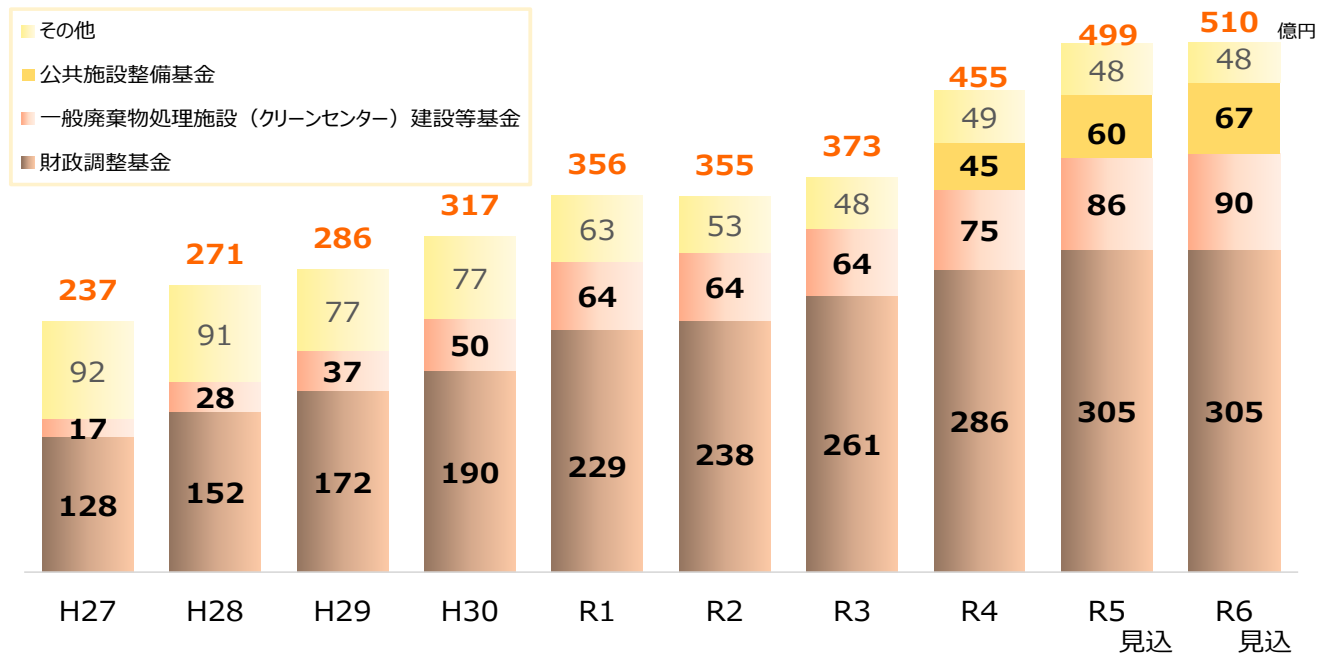
人件費	327億9,995万円 (+25億円、+8.3%) 5年度から開始された <b>定年の段階的引上げ(2年に1歳ずつ)</b> により、6年度は定年退職者が生じるため <b>退職手当が増</b> となるほか、 <b>人事院勧告</b> を踏まえた <b>正規職員人件費</b> の増や、 <b>制度改正</b> による <b>会計年度任用職員への勤勉手当支給開始</b> などにより増となった。
物件費	346億7,653万円 (▲11億円、▲3.1%) 国による <b>情報システム標準化</b> への対応経費のほか、 <b>現在整備を進めている国府台公園野球場</b> 、 <b>八幡分庁舎建替え後の複合施設</b> や <b>びあばーく妙典こども施設の開設</b> に必要な備品購入費などが <b>増</b> となったものの、 <b>新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種が終了</b> し <b>接種経費</b> が大幅に <b>減</b> となったことに伴い <b>減</b> となった。
扶助費	616億8,370万円 (+46億円、+8.0%) <b>児童手当の拡充</b> や、 <b>保育所等運営費</b> 、 <b>障がい者支援</b> 、 <b>生活保護</b> などの <b>扶助費の伸び</b> に伴い増となった。
補助費等	101億692万円 (+8億円、+8.5%) <b>デジタル地域通貨推進事業の本格実施</b> により増となった。
普通建設事業費	109億3,024万円 (+39億円、+56.4%) <b>国府台公園野球場整備工事の再開</b> や、 <b>八幡分庁舎建替え</b> 、 <b>びあばーく妙典こども施設整備</b> など、 <b>継続事業の事業費の増</b> に加え、 <b>本八幡駅北口駅前地区市街地再開発事業</b> の着手や、 <b>斎場建替え</b> に係る <b>設計業務の開始</b> 、 <b>無電柱化推進事業</b> の進捗などにより増となった。

# 基金残高・市債残高の推移

## 1. 基金残高の推移（一般会計）

基金残高見込 **510億円**（+11億円、+2.2%）

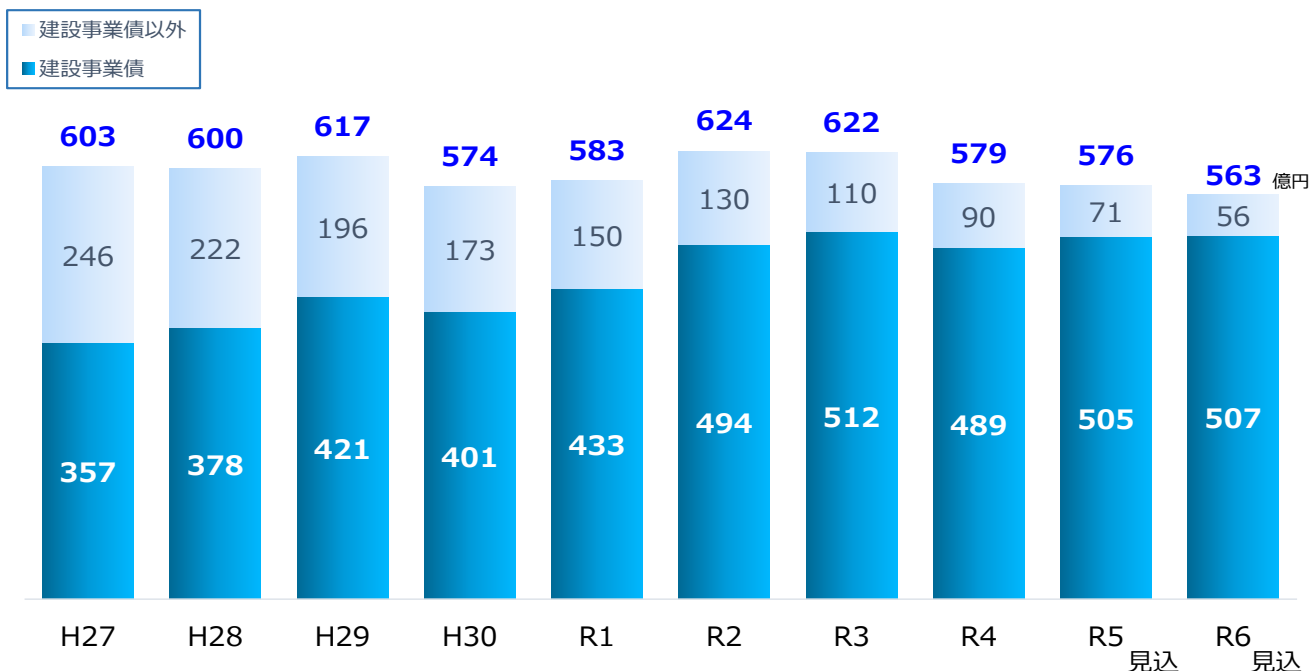
クリーンセンター建替えに向けた財源確保のため、4年度から積立てを再開した「一般廃棄物処理施設建設等基金」の残高については、6年度当初予算で4億円を積立てることにより90億円に達し、4年度に設置した「公共施設整備基金」の残高についても、6年度当初予算で7億円を積立てることにより67億円となり、基金全体では対前年度11億円の増となる見込みである。



## 2. 市債残高の推移（一般会計）

市債残高見込 **563億円**（▲13億円、▲2.3%）

臨時財政対策債など過去に発行した建設事業債以外の償還が進む中、道路や公園などの都市基盤整備を含めた建設事業を計画的に進めることで、建設事業債は近年横ばいで推移していることにより、市債全体では対前年度13億円の減となる見込みである。



【1】市制施行90周年記念

掲載ページ

(1) 記念式典事業

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like '市制施行90周年記念式典' (9,664千円) and '名誉市民の発表' (4,975千円).

(2) 周知事業

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like '市川市議会 市制施行90周年記念事業' (2,343千円) and 'みんなで缶バッチプロジェクト' (3,625千円).

(3) イベント事業

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like 'テレビ番組の公開収録等' (501千円) and '写真展の開催' (47千円).

【2】優先的に進める新規事業等

掲載ページ

1. 脱炭素社会・カーボンニュートラルの推進

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like 'スマートハウス普及促進事業' (55,218千円) and '電気自動車等導入促進事業' (3,772千円).

2. 高齢者等への支援

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like 'ゴールドシニア事業(スマホ購入助成)等【チャレンジ75】' (77,691千円) and 'ゴールドシニア事業(チケット75)' (64,046千円).

3. ごみの減量・資源化、クリーンセンター整備

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like 'クリーンセンター整備事業' (1,442,707千円) and 'ごみ減量・資源化促進事業' (960,650千円).

4. 子育て環境の充実

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like '私立保育園等運営費' (23,320,429千円) and '保育園整備計画事業・公立保育園民営化事業' (991,094千円).

5. 産業・観光の活性化

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like 'デジタル地域通貨推進事業' (1,796,172千円) and '商店街活性化事業' (24,000千円).

6. 地域の振興・防犯の強化

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like '防犯灯設置事業' (187,866千円) and '自治会等委託事業' (100,592千円).

7. 保健衛生の向上

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like '健康寿命延伸事業' (8,529千円) and '予防接種事業(带状疱疹ワクチン等)' (1,620,131千円).

8. 文化・芸術・スポーツの振興

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like '国府台公園再整備事業' (1,627,093千円) and '行徳公会堂天井等改修事業' (213,000千円).

9. 防災・消防力の向上

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like '避難所環境整備事業' (74,819千円) and '地域防災力強化事業' (10,984千円).

10. まちづくりの推進

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like '八幡分庁舎建替事業' (959,400千円) and 'びあばーく妙典整備事業' (1,009,941千円).

11. 教育環境の充実

Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like '学校給食室運営事業・学校給食費管理事業' (4,144,547千円) and '子どもの居場所づくり事業' (363,559千円).

12. その他の事業

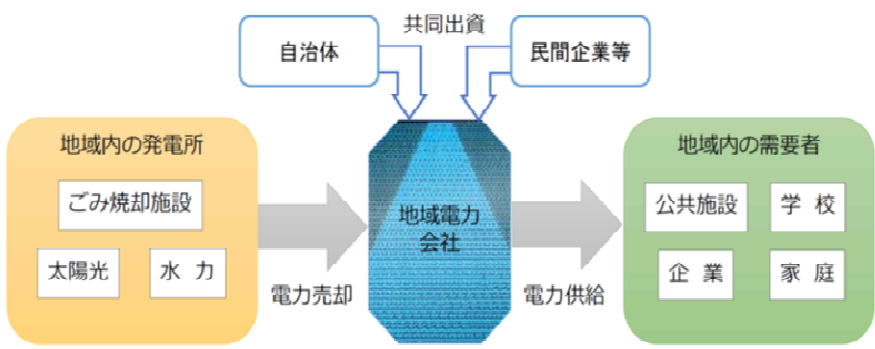
Table with 4 columns: Category, Item, Amount, Page. Includes items like '秘書課事務費(政策推進参与報酬)' (720千円) and '情報システム標準化事業' (1,538,948千円).

・【新規】新規事業、【拡大】拡大事業(既存事業の事業費を含む)、【継続】継続事業、【重点】施政方針及び教育行政運営方針に関連する事業
・この参考資料に掲載している事業及び掲載ページは、「令和6年度 当初予算案説明」に対応しています。問い合わせ先は各掲載ページをご参照ください。

<b>タイトル</b>	ゴールドシニア事業
<b>内容</b>	<p><b>1. 概要</b>  ゴールドシニア（75歳以上の高齢者）等を対象とした事業を拡充する</p> <p><b>2. 内容</b></p> <p>（1）ゴールドシニア外出支援事業（チケット75）  ・バス・タクシーの運賃の一部を補助する「チケット75」を支給する  ・令和6年度は対象人数をそれぞれ15,000人に拡大する</p> <p>（2）スマホ購入支援事業（チャレンジ75）  スマホを初めて購入する場合に、購入費用の1/2を補助する（上限25,000円）</p>
<b>問い合わせ先</b>	福祉部 地域包括支援課 047-712-8556

<b>タイトル</b>	<b>子育て世帯同居・近居スタート応援補助金</b>
<b>内容</b>	<p><b>1. 概要</b>  市内で新たに住宅を建築（購入含む）し、親世帯(祖父母)と同居または近居を開始する子育て世帯 に対し、その建築費等への補助金を支給する。</p> <p><b>2. 内容</b></p> <p>(1) 対象者  小学校就学前の子どもがいる子育て世帯</p> <p>(2) 補助基本要件  市内で新たに住宅の建築等を行い、同居もしくは近居を開始する場合の建築費等に対し、10万円を補助  ※近居の条件：同一小学校区内または直線距離で1.2km圏内</p> <p>(3) 加算要件</p> <p>①新たに建築(購入又は建替え含む)する住居が、ZEH住宅として認証されている場合は、10万円を加算</p> <p>②市外から市内に転入し、同居近居を開始する場合は、10万円を加算</p> <p>(4) 支給件数(予定)  100件</p> <div data-bbox="368 1171 1299 1621" data-label="Diagram"> </div> <p>※ZEHとは、外皮の断熱性能等の大幅な向上や、高効率な設備システムの導入等により住宅の省エネルギーを実現し、再生可能エネルギーの導入等により、家庭の一次エネルギー消費量収支ゼロを目指した住宅のこと。</p>
<b>問い合わせ先</b>	<b>こども部 こども家庭支援課 047-711-0677</b>

<p><b>タイトル</b></p>	<p><b>空家対策事業</b></p>
<p><b>内容</b></p>	<p><b>1. 概要</b>  空家の発生を抑制するため、住まいの管理や処分、活用などに関する啓発、情報提供を行うとともに、適切な管理、活用を促すために、相談体制の構築や、リフォーム費用の補助を行う。管理不全な空家（特定空家）の所有者に対し、助言、指導、勧告等を行うとともに、除却費用の補助を行う。</p> <p><b>2. 内容</b></p> <p><b>空家への支援策</b></p> <p><b>新規事業</b></p> <p>(1) 家財道具の処分費用の補助（地域活性化に資する施設にリフォームした場合）  費用の2分の1 上限 20万円</p> <p>(2) 子育て世帯向けのリフォーム費用の補助（市外からの転入）  費用の2分の1 上限 50万円</p> <p>(3) 子育て世帯向けのリフォーム費用の補助（市内での転居）  費用の2分の1 上限 25万円</p> <p>(4) インспекション（建物状況調査）費用の補助  費用の2分の1 上限 5万円</p> <p><b>既存事業</b></p> <p>(1) 空家を地域活性化に資する施設にリフォームした際の費用を補助  費用の2分の1 上限100万円</p> <p>(2) 特定空家除却後の敷地を、市に無償貸与した場合の除却費用を補助  費用の2分の1 上限100万円</p> <p>(3) 接道条件を満たしていない特定空家の敷地を、接道条件を満たす隣接地所有者に売却等する契約を結んでいる場合の除却費用を補助  費用の2分の1 上限100万円</p> <p>(4) 不燃化耐震化推進地域内の特定空家の除却費用を補助  費用の2分の1 上限 50万円</p>
<p><b>問い合わせ先</b></p>	<p>街づくり部 空家対策課 047-712-6333</p>

タイトル	カーボンニュートラル関連事業
内容	<p><b>1.2030年の二酸化炭素排出量50%削減に向けたロードマップ公表</b></p> <p>(1) 概要            カーボンニュートラル元年として、2050年のカーボンニュートラル実現を見据えた「2030年の二酸化炭素排出量50%以上削減」を目下の目標として、総合的かつ効果的な取り組みを推進していくための道しるべとなるロードマップを策定した。            今後このロードマップを基に、産学官民連携した取り組みを進めていくことから、このロードマップを公表し、市内事業者・教育機関、そして市民に理解と協力を求めるもの。</p> <p>(2) 内容            (1) 公表日 令和6年2月6日 記者会見終了後            (2) 公表場所 市公式Webサイト            (3) イメージ図 (別紙)</p> <p><b>2.地域新電力会社設立事業</b></p> <p>(1) 概要            脱炭素社会の実現に向け、二酸化炭素排出量を削減するため、エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの利用促進を目的として、地域新電力会社の設立を目指すもの。</p> <p>(2) 内容            高度な専門的知識を有する有識者の意見を踏まえ、6年度内の地域新電力会社設立を目指すもの。</p> <p>(3) 地域新電力会社について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境面：クリーンセンターの余剰電力等を地産地消することで、市内のCO<sub>2</sub>排出量を削減する。</li> <li>・経済面：地域新電力会社を通じて電力供給を行うことで、小売電気事業者に係わる収益を市に留める。</li> <li>・社会面：地域新電力会社で得られた利益を脱炭素事業等に充当して、地域に還元する。</li> </ul> <p>[一般的なイメージ]</p>  <p>出典：環境省「廃棄物エネルギー利活用方策の実務入門」</p>

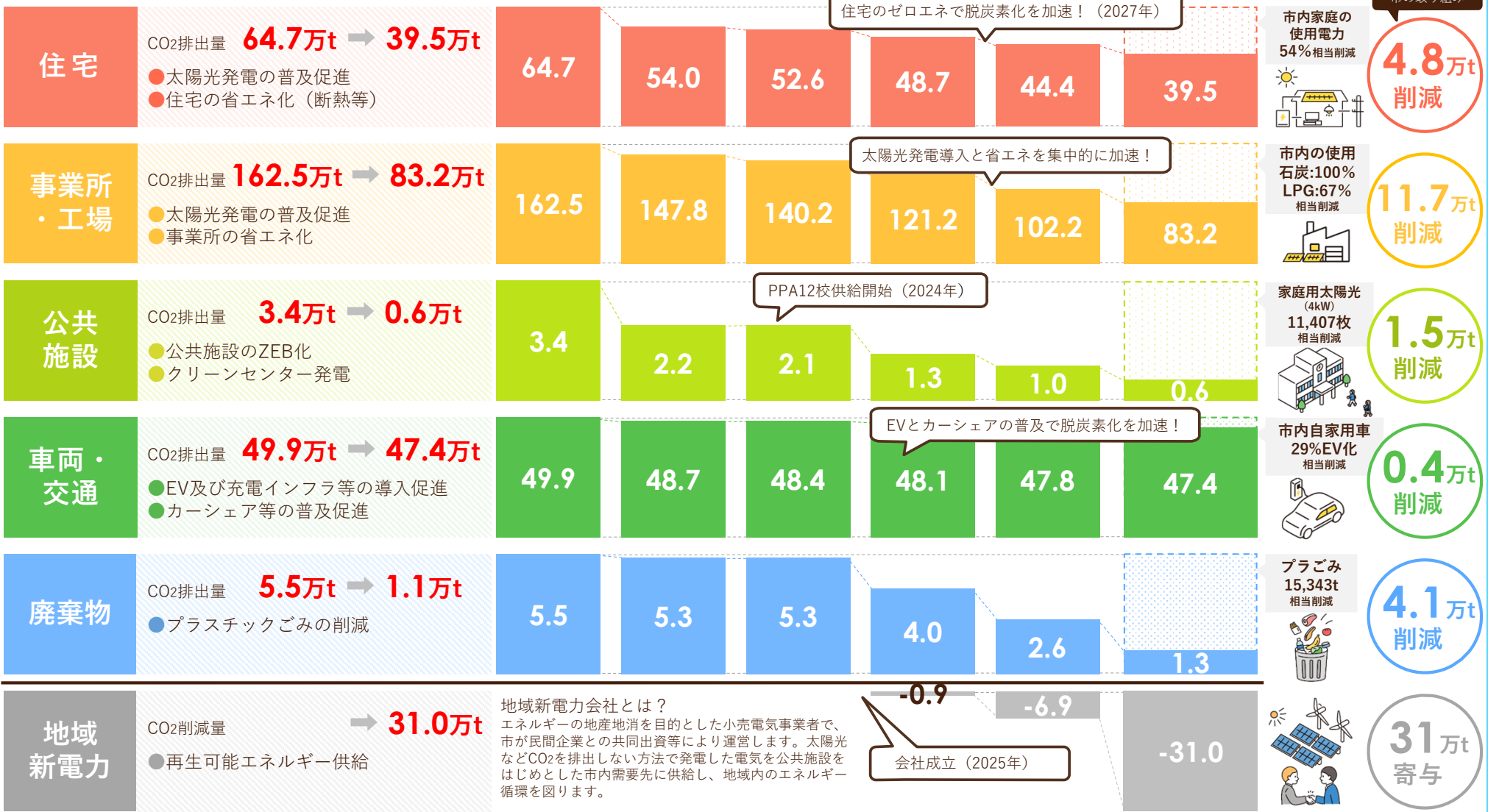
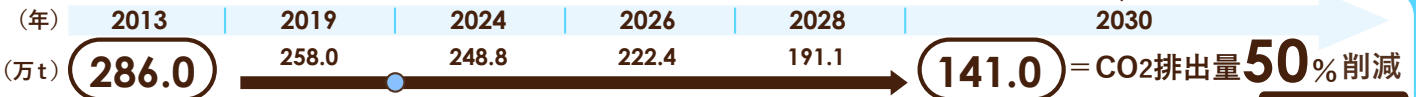
タイトル	カーボンニュートラル関連事業
内容	<p><b>3. 住宅断熱改修促進事業</b></p> <p>(1) 概要  既存住宅の断熱性能を高めることにより、二酸化炭素の排出を削減し、カーボンニュートラルの実現に寄与するため、住宅の断熱化工事費用の一部を助成するもの。  なお、令和6年度は補助対象に従来までの断熱化工事（窓・ドア）に加え、新たに高断熱化工事（窓・ドア）や壁・床・天井の断熱化を補助対象として拡大する。  ※市民が所有し居住している住宅において、市内に本店がある事業者を利用して行うことを要件とする。</p> <p>(2) 令和6年度補助内容（拡大部分）  ○窓、ドアの高断熱化 1件当たり 補助率1/2 20万円（上限）  ○壁、床、天井の断熱化 1件当たり 補助率1/2 30万円（上限）</p> <p><b>4. スマートハウス普及促進事業</b></p> <p>(1) 概要  脱炭素社会の実現に向けて、家庭における地球温暖化対策の推進に加え電力の強靱化を図り、市域から排出される二酸化炭素排出量の削減を図るため、住宅用太陽光発電設備や省エネルギー設備等の導入費用の一部を補助するもの。  なお、令和6年度は住宅用太陽光発電設備に関して、従来までの既存住宅に加え、新築住宅も補助対象とし、補助金交付額も引き上げる。</p> <p>(2) 令和6年度補助内容（拡大部分）  ○(既築・新築)住宅用太陽光発電設備 1kW当たり5万円  最大4.5kW、22万5千円（上限）  ※市内事業者の施工であることを要件とする。</p> <p><b>5. 電気自動車等導入促進事業</b></p> <p>(1) 概要  脱炭素社会の実現に向けて、電気自動車等を普及促進させ、移動に伴う二酸化炭素排出量の削減を図るため、電気自動車等の導入費用の一部を補助するもの。  なお、令和6年度は補助対象に従来までの電気自動車やV2H充放電設備に加え、電動バイクも補助対象とする。</p> <p>(2) 令和6年度補助内容（拡大部分）  ○電動バイク 1台当たり2万円（上限）</p>
問い合わせ先	1 市長公室 カーボンニュートラル推進課 047-712-8634 2 環境部 総合環境課 047-712-5782 3 街づくり部 街づくり整備課 047-712-6327 4～5 環境部 総合環境課 047-712-5782



# 待ったなしのCO2削減 市川市2030年に向けた CO2排出量50%削減ロードマップ

2030年までに  
市川市が目指すゴール

国の施策等による削減91万tを除く約53万tのCO2を市川市の特性に合わせた6つの柱で削減します！



※本ロードマップは今後より効果的な取り組み等へ、適時更新していきます

6つの柱（取り組み）を進めるために、情報発信やイベントなどの啓発、意見交換の場をつくり、みんなが関わって、「みんなが一体となって取り組む」カーボンニュートラルを進めていこう！

<p><b>タイトル</b></p>	<p><b>クリーンセンター整備事業</b></p>
<p><b>内容</b></p>	<p><b>1. 概要</b>  新しいクリーンセンターの整備・運営事業について、お知らせします。</p> <p><b>2. 内容</b></p> <p><b>(1) 令和6年度当初予算</b>  ○債務負担行為の設定  クリーンセンター整備・運営事業費 750億円  (設計・工事費および20年分の運営費を含む)</p> <p><b>(2) 発注方法</b>  設計・建設・運営を一括で実施する  デザイン・ビルド・オペレート方式 (DBO方式) により発注します。</p> <p><b>(3) 運営方法</b>  民間事業者に運営を委託します。期間は20年を予定しています。</p> <p><b>(4) スケジュール (予定)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 2月定例会：予算案提出</li> <li>・令和6年度 事業者選定</li> <li>・令和7年度 6月定例会：工事契約議案提出</li> <li>・令和12年度 民間事業者による運営開始 (令和13年1月)</li> </ul>
<p><b>問い合わせ先</b></p>	<p>環境部 クリーンセンター建設課 047-712-6304</p>

# クリーンセンター整備事業について

## ■事業概要

現在の市川市クリーンセンターは、平成6年の竣工で稼働期間が29年となり、老朽化が進んでいることから、施設の建て替えを行うものです。

場所	市川市田尻1003番（建替計画地 約21,000㎡）
事業方式	設計・建設・運営を一括で実施する デザイン・ビルド・オペレート（DBO方式）により発注します。 設計・建設から運營業務までを含めて一括発注することにより、事業全体を通じた民間事業者の創意工夫の発揮が期待できます。
事業期間（予定）	令和7年7月から令和32年12月 設計・建設：5.5年（令和7年7月～令和12年12月） 運営：20年（令和13年1月～令和32年12月）
業務内容	設計業務、建設業務、運営管理業務、維持管理業務

## ■施設整備に係る基本方針

- ① 効率的に熱エネルギーを回収する施設とする
- ② 安全性・安定性に優れた施設とする
- ③ 災害に対して強靱な施設とする
- ④ 市民への情報発信の拠点となる施設とする
- ⑤ 経済性に優れた施設とする

「次期クリーンセンター施設整備基本構想」（平成28年1月策定）より

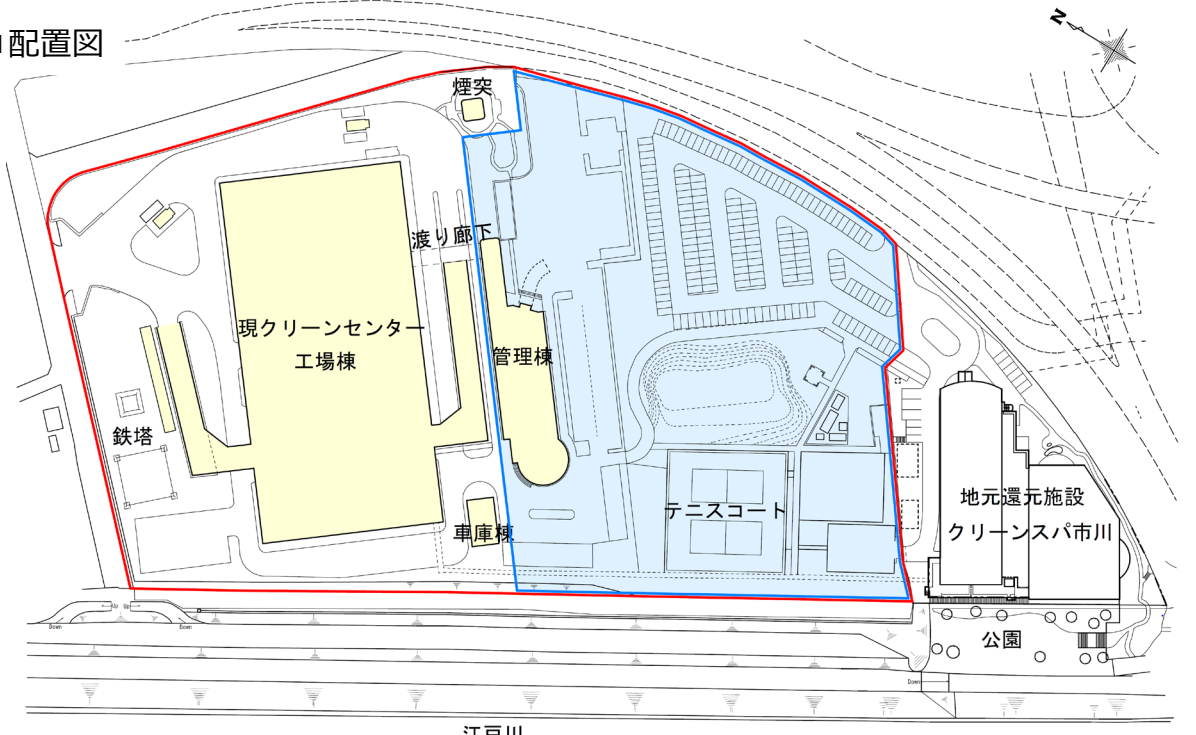


令和13年1月の稼働を目指し、整備工事を開始します。

## ■事業費

債務負担行為	整備・運營業業費	750億円	
(内訳)	1. 設計及び工事費	} 500億円	
	・ 本体工事		約491億円
	（地下構造物撤去含む）		
	・ 高規格堤防工事		約5億円
	・ 管理棟改修工事	約4億円	
	2. 運営費（20年間）	250億円	

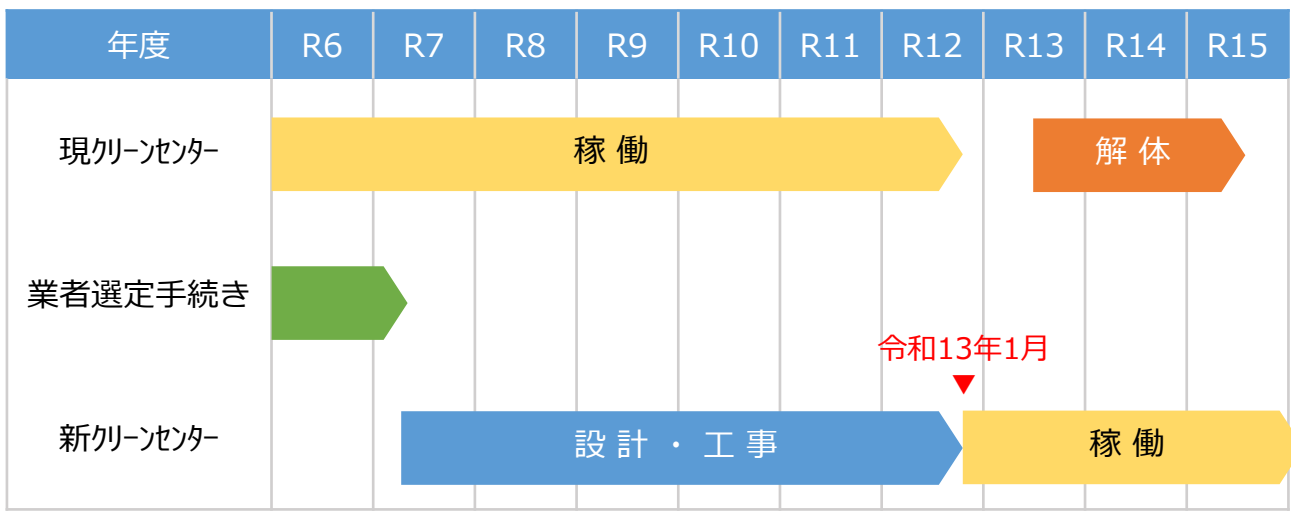
## ■配置図



## ■施設概要

	新クリーンセンター	現クリーンセンター
焼却能力	423 t / 日 (141t/日×3炉)	600 t / 日 (200t/日×3炉)
破碎能力	27 t / 日	75 t / 日
発電能力	11,000 kW (想定)	7,300 kW

## ■事業スケジュール（予定）



タイトル

避難所環境整備事業

1. 概要

地震や台風、大雨などの災害に備え、市民が安心して過ごせるよう、避難所の環境整備を行う。

2. 内容

(1) トイレ環境の整備

・避難所となる体育館のトイレの洋式化を進めるとともに、トイレの使用ができません状況に備えた簡易トイレ（携帯トイレ）の備蓄を進める。

(2) 備蓄食料品の整備

・避難者に対し電気やガスなどのインフラが停止した場合にも食事が提供できるよう、クラッカーやアルファ米、飲料水などの備蓄、入れ替えを行う。

(3) 衛生用品の整備

・避難所の感染症対策としてマスクや消毒液を備えるほか、おむつや生理用品の購入を進めるなど衛生環境の整備を行う。

(4) 電源等の整備

・大規模な停電に備え進めている、大型蓄電池とLEDバルーンライトの購入により、避難所での電力や照明の確保を行う。

など

内容

【備蓄食料品の整備】



備蓄食料品

【電源等の整備】



LEDバルーンライト



蓄電池

問い合わせ先

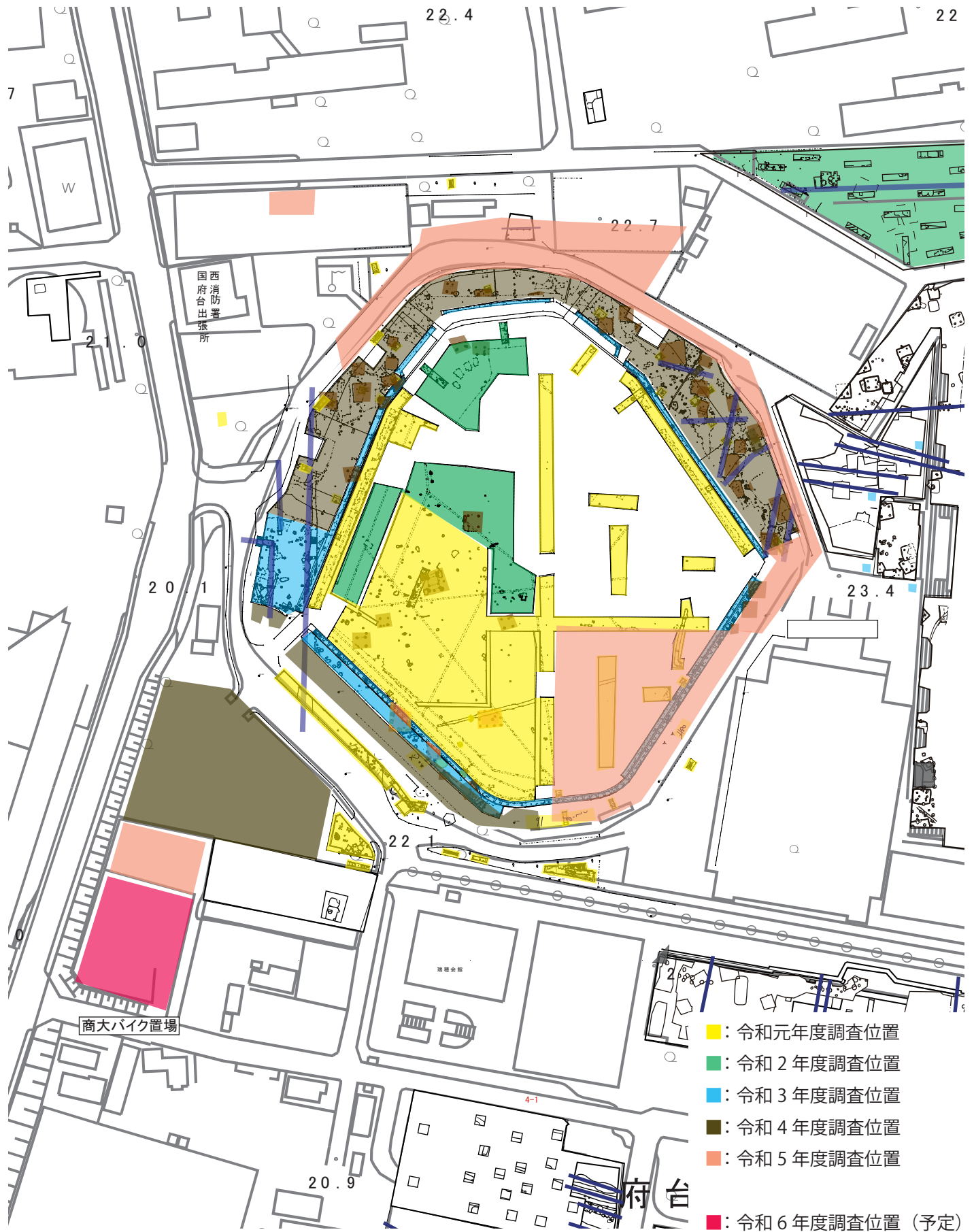
危機管理室 地域防災課 047-704-0065

<b>タイトル</b>	<b>都市計画マスタープラン推進事業</b>
<b>内容</b>	<p><b>1. 概要</b></p> <p>市川市都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に基づく都市計画に関する基本的な方針で、市の総合計画に即し、現行計画は平成16年3月に策定され、令和7年度に目標年次を迎える。</p> <p>この間、少子高齢化の進展や災害の激甚化など、社会情勢の変化が見受けられる。一方で、南北軸である外環道路や都市計画道路3・4・18号の整備や、都市拠点である市川駅及び本八幡駅周辺における再開発事業の実施など、現行計画に記載された本市のまちづくりは着実に進むなど、市内状況も変化している。</p> <p>そこで、上位計画である次期総合計画の策定と調整を図りながら、都市計画マスタープランを改定する。</p> <p><b>2. 内容</b></p> <p>(1) 令和6年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①現状の都市構造の把握と将来都市構造の課題抽出</li> <li>②全体構想案、地域別構想案、改定骨子の策定</li> <li>③市民意向調査（オープンハウス等）の実施</li> </ul> <p>(2) 令和7年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①都市計画マスタープラン改定素案の作成</li> <li>②住民説明会、パブリックコメント等の実施</li> <li>③都市計画審議会への諮問</li> </ul>
<b>問い合わせ先</b>	街づくり部 街づくり計画課 047-712-6323

<p><b>タイトル</b></p>	<p><b>本八幡駅北口駅前地区市街地再開発事業</b></p> <p><b>1. 概要</b>  「市川都市計画都市再開発の方針」に基づき、特に一体的かつ総合的に市街地の再開発を促進すべき地区として位置付けられている本八幡駅北口地区において、本八幡駅北口駅前地区再開発準備組合が実施する調査設計計画費の一部を補助する。(予算額401,600千円)</p> <p><b>2. 内容</b>  本八幡駅北口駅前地区再開発準備組合が実施する調査設計計画費(総事業費943,150千円のうち、補助対象事業費602,400千円)に対し、国が1/3、県が1/6、市が1/6を補助する。  (市の歳出予算額としては401,600千円)</p> <p>○【歳出：補助金】本八幡駅北口駅前地区市街地再開発事業補助金  令和6年度本八幡駅北口駅前地区再開発準備組合の事業費 (単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="300 1025 1505 1167"> <thead> <tr> <th>総事業費A</th> <th>補助対象事業費B</th> <th>国庫補助金C B×1/3</th> <th>県補助金D B×1/3×1/2</th> <th>市補助金E B×1/3×1/2</th> <th>歳出予算額F C+D+E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>943,150</td> <td>602,400</td> <td>200,800</td> <td>100,400</td> <td>100,400</td> <td><b>401,600</b></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="501 1205 943 1420"> <thead> <tr> <th colspan="2">歳出予算額Fの内訳 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測量調査</td> <td>6,800</td> </tr> <tr> <td>従前土地評価</td> <td>4,400</td> </tr> <tr> <td>建物調査</td> <td>122,800</td> </tr> <tr> <td>基本設計</td> <td>267,600</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>401,600</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費A	補助対象事業費B	国庫補助金C B×1/3	県補助金D B×1/3×1/2	市補助金E B×1/3×1/2	歳出予算額F C+D+E	943,150	602,400	200,800	100,400	100,400	<b>401,600</b>	歳出予算額Fの内訳 (千円)		測量調査	6,800	従前土地評価	4,400	建物調査	122,800	基本設計	267,600	合計	401,600
総事業費A	補助対象事業費B	国庫補助金C B×1/3	県補助金D B×1/3×1/2	市補助金E B×1/3×1/2	歳出予算額F C+D+E																				
943,150	602,400	200,800	100,400	100,400	<b>401,600</b>																				
歳出予算額Fの内訳 (千円)																									
測量調査	6,800																								
従前土地評価	4,400																								
建物調査	122,800																								
基本設計	267,600																								
合計	401,600																								
<p><b>問い合わせ先</b></p>	<p>街づくり部 街づくり整備課 047-712-6327</p>																								

<p><b>タイトル</b></p>	<p><b>埋蔵文化財調査事業（下総国府調査）</b></p>
<p><b>内容</b></p>	<p><b>1. 概要</b></p> <p>奈良・平安時代の地方都市の一つである下総国府の様相を探る手掛かりを得るため、千葉商科大学敷地内において発掘調査を実施するとともに、令和5年度までの発掘調査の記録を発掘調査報告書として刊行する。</p> <p>なお、令和5年度事業ではあるが、地中レーダー探査を実施する。</p> <p><b>2. 内容</b></p> <p>(1) 発掘調査</p> <p>①実施予定場所 千葉商科大学の学生用バイク置き場（別紙1）</p> <p>②実施時期 今後、大学との調整において決定する。</p> <p>(2) 発掘調査報告書</p> <p>①報告の範囲 令和3年度から同5年度までに実施した発掘調査</p> <p>②刊行予定日 令和7年3月頃</p> <p>(3) 地中レーダー探査</p> <p>①概要 地中レーダー探査は、地表から地中に向けて電磁波を放射し、その反射波を捉えることによって、地中に埋没している遺跡を把握する手法である。地下にある埋設物等の影響ではっきりと結果がでないこともあるが、地表を掘り起こさずに調査ができることから、有効な手法であると考えます。</p> <p>②実施場所 千葉商科大学敷地内及びスポーツセンター（別紙2）</p> <p>③委託期間 令和6年2月下旬～3月末（予定）</p>
<p><b>問い合わせ先</b></p>	<p>生涯学習部 考古博物館 047-373-2202</p>

# 埋蔵文化財調査事業（下総国府調査）発掘調査予定図





# 埋蔵文化財調査事業（下総国府調査）に係る地中レーダー探査位置図

地中レーダー探査とは、地上から放射する電磁波の反射波を捉えることにより、地下の遺跡を非破壊的に調査する方法です。

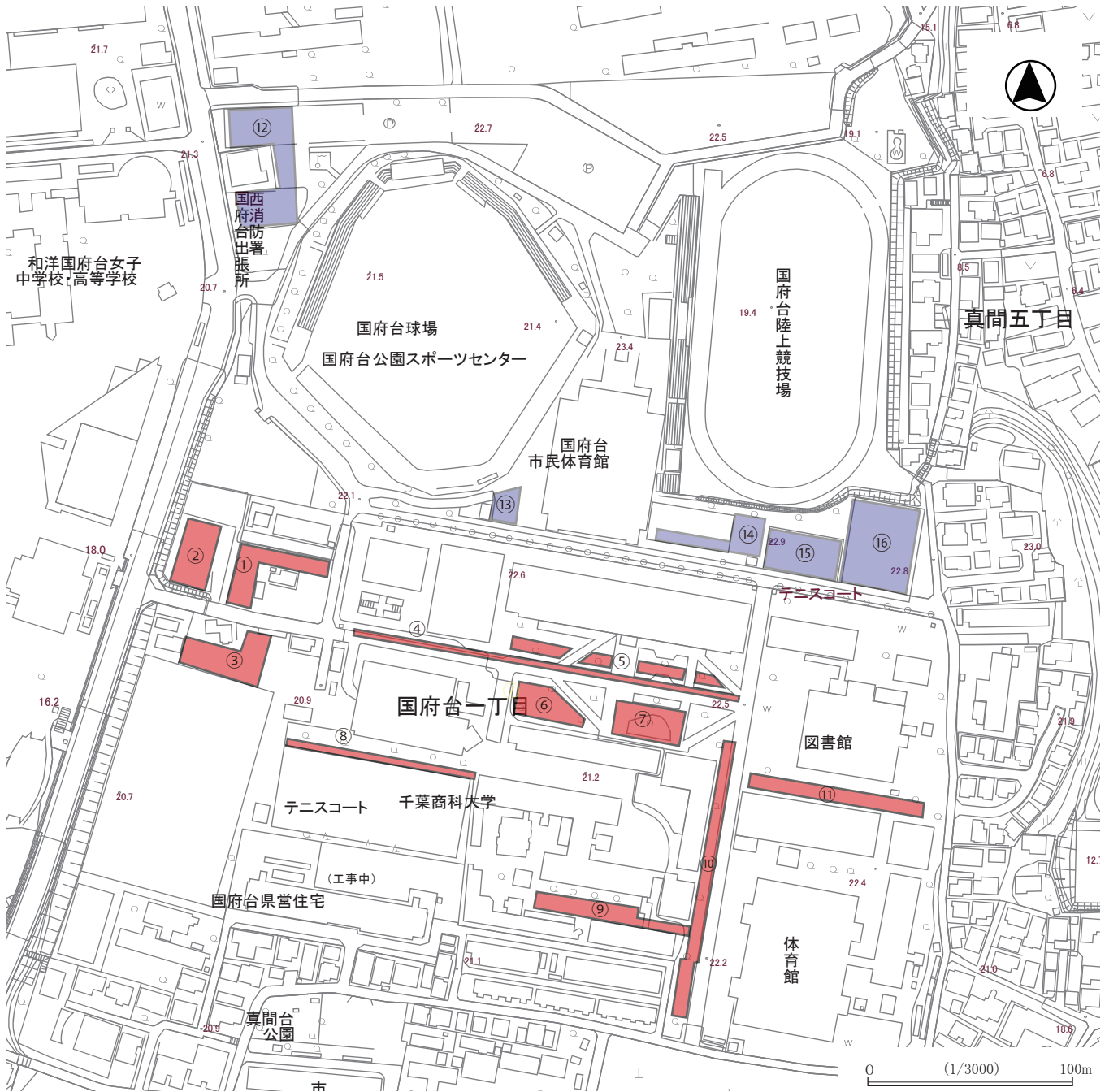
- ・ 地中レーダー探査の位置

■：千葉商科大学内予定位置 (①～⑪)

■：スポーツセンター内予定位置 (⑫～⑯)

- ・ 調査期間（予定）

令和 6 年 2 月下旬～ 3 月末



<p><b>タイトル</b></p>	<p><b>美術館建設準備事業</b></p>
<p><b>内容</b></p>	<p><b>1. 概要</b>  文化国際部では、文化芸術の振興を図るため、令和6年度は重点事業として、次の事業を進める。</p> <p><b>(1) 美術館建設準備事業</b>  「文化都市 いちかわ」の新しいシンボルの1つとして、美術館の開設に向けた調査・研究を継続する。</p> <p>※ 予算措置：市立美術館検討会委員報償金 110千円</p>
<p><b>問い合わせ先</b></p>	<p>文化国際部 文化施設課 047-318-9731</p>

タイトル

デジタル地域通貨推進事業

※ 拡大資料は別紙あり

デジタル地域通貨ICHICOについて①【実証実験の検証結果】

**1. 実証実験の概要**

- 目的: デジタル地域通貨の仕組み、事業運営、利用実績、事業効果を検証する。
- 期間: 令和5年5月22日から令和5年9月30日
- 場所: 本八幡駅周辺地区
- 実施内容: 発行金額: 475,484,972円 (対予算額79.9%) 参加者: 市民15,000人 (令和5年9月30日現在) 利用金額: 400,301,565円 (対発行額84.2%) 加盟店: 212店 (飲食106店、物販78店、美容院・整骨院等28店)

**2. 検証結果**

検証項目	検証内容	検証結果	アンケート調査結果等
仕組み	正確かつスムーズにデジタル地域通貨を流通できたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確かつスムーズにデジタル地域通貨を発行することができた。</li> <li>幅広い年齢層の参加者がスムーズにデジタル地域通貨を利用できた。</li> <li>加盟店に対して、正確に売上代金の精算を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の年齢層                     <ul style="list-style-type: none"> <li>30代以下 約25%</li> <li>40代および50代 約50%</li> <li>60代以上 約25%</li> </ul> </li> <li>第3回アンケート調査結果                     <ul style="list-style-type: none"> <li>「利用エリアと加盟店の拡大を希望」 約84%</li> <li>「年間を通してのチャージを希望」 約49%</li> <li>「クレジットカードからのチャージを希望」 約39%</li> </ul> </li> </ul>
事業運営	スムーズに事業を運営できたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験の期間中、トラブルなく、スムーズに事業を運営することができた。</li> </ul>	
利用実績	デジタル地域通貨は、どの程度、利用されたか。どのような店舗で、利用されたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4億円以上が利用され、検証を行う上で十分な利用実績となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用金額の割合                     <ul style="list-style-type: none"> <li>大企業が経営する店舗 約73%</li> <li>中小企業や個人事業主が経営する店舗 約27%</li> </ul> </li> </ul>
事業効果	地域経済に対して、どのような効果が認められたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内店舗の利用促進、消費の喚起、経済波及効果の顕著等の効果が認められた。</li> <li>経済効果は推定3.1億円となり、事業費(実質負担経費)1.7億円を上回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回アンケート調査結果                     <ul style="list-style-type: none"> <li>市内店舗で買物等をするようになった 約88%</li> </ul> </li> <li>経済効果3.1億円の内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>市内から市内へ消費を呼び戻した額 1.3億円</li> <li>消費喚起額 1.2億円</li> <li>経済波及効果 0.6億円</li> </ul> </li> </ul>
	市民活動に対して、どのような効果が認められたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政ポイントの付与は、参加者が健康づくりやボランティア活動に取り組み動機付けとなった。</li> <li>約4か月の実証実験期間において、一部の事業では、参加者が増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回アンケート調査結果                     <ul style="list-style-type: none"> <li>行政ポイントは参加の動機になった 約90%</li> </ul> </li> <li>参加者が増加した事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>運転免許証を自主返納した方からの申込件数 107件 (前年比5倍)</li> <li>e二重制度登録者 160人増 (前年比2倍)</li> </ul> </li> </ul>
	その他、どのような効果が認められたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元への関心や愛着を高める効果が認められた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回アンケート調査結果                     <ul style="list-style-type: none"> <li>「地元への関心や愛着が高まった」 約78%</li> </ul> </li> </ul>

**3. まとめ**

今回の実証実験の結果、デジタル地域通貨は、地域経済と市民活動の活性化に有効と考えられる。特に行政ポイントの活用により、施策・事業の推進、地域コミュニティの醸成、市民満足度の向上が期待できる。  
 ・明らかになった課題に対して、「利便性のさらなる向上」、「商店会との連携強化」、「中小企業や個人事業主が経営する加盟店における消費の後押し」等の対応を行い、令和6年度はエリアを拡大して事業を実施する。  
 経済観光部 経済産業課 デジタル地域通貨担当室 047-712-8598

内容

デジタル地域通貨ICHICOについて②【令和6年度事業(案)】

**1. 事業目的**

- 市内の資金循環により、消費を喚起して、地域経済を活性化
- 地域に寄与する行動にインセンティブとしてポイントを付与して市民活動を活性化

**2. 令和6年度コンセプト**

- 事業規模の拡大により、地域経済と市民活動の活性化を推進
- 商店会と連携を図り、中小企業や個人事業主の店舗における消費を喚起
- 市制施行90周年キャンペーン等を行って、ICHICOの利用を促進

**3. 令和6年度事業計画(案)**

**① 計画概要**

- (1) 事業期間: 通年: 令和6年4月1日～令和7年3月31日
- (2) 加盟店: 400店舗以上
- (3) 利用者: 2万5,000人以上
  - ※ 実証実験では利用者を市民に限定していたが、在住者とは消費傾向が異なる在勤・在学者等まで対象を広げて、関係人口による消費を喚起する。
- (4) 事業地区: 市川駅、行徳駅、南行徳駅、市川大野駅周辺へ拡大(令和6年7月予定)
  - ※ 事業に賛同する商店会の協力を得て順次拡大
  - ※ 実証実験を行った本八幡駅周辺地区は継続
  - ※ 上記以外の場所でも、参加を希望する店舗は登録
- (5) 行政ポイント: 健康ポイント事業Aruco等の既存事業を継続  
 自治会活動に協力した大学生ボランティアへのポイント付与、エコポイント制度との連携等の新規事業を拡大

**② 流通額**

区分	流通額	参考(歳入額)
現金チャージ額	15億円	チャージ 15億円
還元ポイント	1億6,500万円	国費 1億4,000万円
行政ポイント	5,108万円	国費 108万円
ふるさと納税返礼ポイント	100万円	寄付 100万円
合計	17億1,708万円	16億4,208万円

●還元ポイントの内訳

区分	時期	還元率		流通額
		中小企業・個人事業主の店舗	大企業の店舗	
市制施行90周年キャンペーン第1弾	7月～8月頃	20%	5%	4,000万円
市制施行90周年キャンペーン第2弾	11月～1月頃	20%	5%	1億円
キャンペーン期間外		5%	1%	2,500万円

**③ 予算**

項目	金額	内訳
●歳入	16億8,743万円	チャージ額 15億円、国費 1億8,035万円、ふるさと納税寄付額100万円、加盟店負担額608万円
●歳出	17億9,617万円	流通額 17億1,708万円(チャージ額15億円、国費1億4,108万円充当)、事務経費 7,909万円(国費3,927万円充当)
●実質負担額	1億 874万円	

【参考】令和5年度当初予算

項目	金額	内訳
●歳入	4億5,000万円	チャージ額 4億5,000万円
●歳出	6億6,048万円	流通額 5億9,490万円、事務経費 6,558万円
●実質負担額	2億1,048万円	

経済観光部 経済産業課 デジタル地域通貨担当室 047-712-8598

問い合わせ先

経済観光部 経済産業課 デジタル地域通貨担当室 047-712-8598

# デジタル地域通貨ICHICOについて① [実証実験の検証結果]

## 1. 実証実験の概要

・目的	デジタル地域通貨の <b>仕組み、事業運営、利用実績、事業効果</b> を検証する。		
・期間	令和5年5月22日から令和5年9月30日		
・場所	本八幡駅周辺地区		
・実施内容	発行金額：475,484,972円（対予算額79.9%）	参加者：市民15,000人	
(令和5年9月30日時点)	利用金額：400,301,565円（対発行額84.2%）	加盟店：212店（飲食106店、物販78店、美容院・整骨院等28店）	



## 2. 検証結果

検証項目	検証内容	検証結果	アンケート調査結果等
仕組み	正確かつスムーズにデジタル地域通貨を流通できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確かつスムーズにデジタル地域通貨を発行することができた。</li> <li><b>幅広い年齢層</b>の参加者がスムーズにデジタル地域通貨を利用できた。</li> <li>加盟店に対して、正確に売上代金の精算を行うことができた。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【課題】</b> 利用エリアと加盟店の拡大、チャージの期間と方法の改善のほか、申込手続の簡略化を希望する意見が多かった。</p> </div> <div style="margin: 0 10px; font-size: 24px;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【対応方針】</b> 利用エリアを拡大して加盟店を増やすほか、クレジットカードからのチャージ機能を追加する等、利便性のさらなる向上を図る。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>参加者の年齢層</b></li> <li>・30代以下 約25%</li> <li>・40代および50代 約50%</li> <li>・60代以上 約25%</li> <li>● <b>第3回アンケート調査結果</b></li> <li>・「利用エリアと加盟店の拡大を希望」 約84%</li> <li>・「年間を通してのチャージを希望」 約49%</li> <li>・「クレジットカードからのチャージを希望」 約39%</li> </ul>
事業運営	スムーズに事業を運営できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験の期間中、トラブルなく、スムーズに事業を運営することができた。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【課題】</b> 加盟店と参加者の獲得に時間を要した。</p> </div> <div style="margin: 0 10px; font-size: 24px;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【対応方針】</b> 商店会との連携強化、中小企業や個人事業主の加盟店負担額の見直し等、加盟店の獲得に努める。</p> </div> </div>	
利用実績	デジタル地域通貨は、どの程度、利用されたか。 どのような店舗で、利用されたか。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>4億円以上</b>が利用され、検証を行う上で<b>十分な利用実績</b>となった。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【課題】</b> 大企業が経営する加盟店で、多くのICHICOが利用された。</p> </div> <div style="margin: 0 10px; font-size: 24px;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【対応方針】</b> 利用金額に応じて付与する還元ポイントの率に差を付けて、中小企業や個人事業主の加盟店における消費を後押しする。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>利用金額の割合</b></li> <li>・大企業が経営する店舗 約73%</li> <li>・中小企業や個人事業主が経営する店舗 約27%</li> </ul>
事業効果	地域経済に対して、どのような効果が認められたか。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>市内店舗の利用促進、消費の喚起、経済波及効果の誘発等</b>の効果が認められた。</li> <li>・<b>経済効果は推定3.1億円</b>となり、事業費（実質負担経費）1.7億円を上回った。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>令和5年度事業費 1.7億円</b> &lt;実質負担経費（決算見込）&gt; ■歳入：約3.6億円、■歳出：約5.3億円、■差引：約1.7億円</p> </div> <div style="margin: 0 10px; font-size: 24px;">&lt;</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>経済効果 3.1億円</b></p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>第3回アンケート調査結果</b></li> <li>・「市内店舗で買物等をするようになった」 約88%</li> <li>● <b>経済効果3.1億円の内訳</b></li> <li>・市外から市内へ消費を呼び戻した額 1.3億円</li> <li>・消費喚起額 1.2億円</li> <li>・経済波及効果 0.6億円</li> </ul> <p style="font-size: 10px; margin-top: 5px;">第2回アンケート調査結果から算出</p>
	市民活動に対して、どのような効果が認められたか。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政ポイントの付与は、参加者が健康づくりやボランティア活動に<b>取り組む動機付け</b>となった。</li> <li>・約4カ月の実証実験期間において、一部の事業では、<b>参加者が増加</b>した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>第1回アンケート調査結果</b></li> <li>・「行政ポイントは参加の動機になった」 約90%</li> <li>● <b>参加者が増加した事業</b></li> <li>・運転免許証を自主返納した方からの申込件数 107件（前年比5倍）</li> <li>・eモ二制度登録者 160人増（前年比2倍）</li> </ul>
	そのほか、どのような効果が認められたか。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>地元への関心や愛着</b>を高める効果が認められた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>第1回アンケート調査結果</b></li> <li>・「地元への関心や愛着が高まった」 約78%</li> </ul>

## 3. まとめ

- ・今回の実証実験の結果、デジタル地域通貨は、**地域経済と市民活動の活性化に有効**と考えられる。特に行政ポイントの活用により、**施策・事業の推進、地域コミュニティの醸成、市民満足度の向上**が期待できる。
- ・明らかになった課題に対して、「利便性のさらなる向上」、「商店会との連携強化」、「中小企業や個人事業主が経営する加盟店における消費の後押し」等の対応を行い、**令和6年度はエリアを拡大して事業を実施**する。

# デジタル地域通貨ICHICOについて②〔令和6年度事業（案）〕

## 1. 事業目的

- 市内の資金循環により、消費を喚起して、**地域経済を活性化**
- 地域に寄与する行動にインセンティブとしてポイントを付与して**市民活動を活性化**

## 2. 令和6年度コンセプト

- 事業規模の拡大**により、地域経済と市民活動の**活性化を推進**
- 商店会と連携**を図り、中小企業や個人事業主の店舗における**消費を喚起**
- 市制施行90周年キャンペーン等**を行って、ICHICOの**利用を促進**

## 3. 令和6年度 事業計画（案）

### ①計画概要

(1) 事業期間 ↔ 通年：令和6年4月1日～令和7年3月31日

(2) 加盟店  400店舗以上

(3) 利用者  2万5,000人以上


※ 実証実験では利用者を市民に限定していたが、在住者とは消費傾向が異なる在勤・在学者等まで対象を広げて、**関係人口による消費を喚起**する。

(4) 事業地区  市川駅、行徳駅、南行徳駅、市川大野駅周辺へ拡大  
(令和6年7月予定)

※ 事業に賛同する**商店会の協力**を得て**順次拡大**

※ 実証実験を行った本八幡駅周辺地区は**継続**

※ 上記以外の場所でも、参加を希望する店舗は登録

(5) 行政ポイント  健康ポイント事業Aruco等の**既存事業を継続**  
自治会活動に協力した大学生ボランティアへのポイント付与、エコポイント制度との連携等の**新規事業を拡大**

### ②流通額

区分	流通額	参考（歳入額）
現金チャージ額	15億円	チャージ 15億円
還元ポイント	1億6,500万円	国費 1億4,000万円
行政ポイント	5,108万円	国費 108万円
ふるさと納税返礼ポイント	100万円	寄付 100万円
合計	<b>17億1,708万円</b>	<b>16億4,208万円</b>

### ●還元ポイントの内訳

区分	時期	還元率		流通額
		中小企業・個人事業主の店舗	大企業の店舗	
市制施行90周年キャンペーン第1弾	7月～8月頃	20%	5%	4,000万円
市制施行90周年キャンペーン第2弾	11月～1月頃	20%	5%	1億円
キャンペーン期間外		5%	1%	2,500万円

### ③予算

● 歳入 **16億8,743万円** チャージ額 15億円、国費 1億8,035万円  
ふるさと納税寄付額100万円、加盟店負担額608万円

● 歳出 **17億9,617万円** 流通額 17億1,708万円（チャージ額15億円、国費1億4,108万円充当）  
事務経費 7,909万円（国費3,927万円充当）

● 実質負担額 **1億 874万円**

### 【参考】令和5年度当初予算

● 歳入 **4億5,000万円** チャージ額 4億5,000万円

● 歳出 **6億6,048万円** 流通額 5億9,490万円  
事務経費 6,558万円

● 実質負担額 **2億1,048万円**

その他のお知らせ

タイトル	梨の花摘みボランティア募集について
内容	<p><b>1. 概要</b></p> <p>梨の花摘みボランティアにつきましては、令和6年1月20日（土）から募集を行い、合計、363名のご応募をいただきました。 必要と考えておりました100名程度のボランティア数を大幅に上回ることとなりましたので、令和6年1月31日（水）にて募集を締め切らせていただくことについて、1月29日（月）にプレスリリースいたしました。</p> <p>授粉用中国産花粉の輸入停止に伴う、緊急のボランティア募集であり、本市としても初めての取り組みではございましたが、多くの方々のご理解とご支援をいただくことができました。 「市川のなし」に寄せる市民の皆様のご厚情に感謝するとともに、厚く御礼を申し上げます。</p> <p><b>2. 内容</b></p> <p>(1) 当初募集期間 令和6年1月20日（土）～2月9日（金）</p> <p>(2) 変更募集期間 令和6年1月20日（土）～1月31日（水）</p> <p>(3) 応募者数 令和6年1月31日（水）合計 363名</p> <p>(4) 研修場所 令和6年3月3日（日）10時～ 市役所第1庁舎 ※全日警ホールより変更 令和6年3月7日（木）18時～ 全日警ホール</p>
問い合わせ先	経済観光部 農業振興課 047-711-1141

# 市川のなし 梨花隊 募集



対象者 : 18歳以上の方  
活動期間 : 3月25日~4月7日  
活動内容 : 梨の花摘みに関すること

梨の花摘みボランティアとして梨農家さんに協力してくれる方を募集します！

募集期間

1.20 >> 2.9

事前研修 (どちらかに参加必須)

3月3日 日

🕒 10:00~ 📍 全日警ホール

🚆 JR総武線本八幡駅北口・都営新宿線本八幡駅 から徒歩8分、京成線京成八幡駅から徒歩5分

3月7日 木

🕒 18:00~ 📍 全日警ホール

🚆 JR総武線本八幡駅北口・都営新宿線本八幡駅 から徒歩8分、京成線京成八幡駅から徒歩5分

申込方法

QRコード



以下必須事項を記入

- ・住所 ・郵便番号
- ・名前 ・年齢
- ・電話番号
- ・メールアドレス

宛先

〒272-8501

市川市八幡1-1-1

農業振興課あて

お問合せ




市川市 経済観光部  
農業振興課

☎ 047-711-1141

<p><b>タイトル</b></p>	<p>東山魁夷記念館特別展「写真家・寺島照夫が捉えた一時代の象徴」</p>
<p><b>内容</b></p>	<p><b>1. 概要</b></p> <p>東山魁夷記念館では、名誉市民である東山魁夷画伯を顕彰するための特別展を定期的に開催しています。</p> <p>今回は、令和5年1月に逝去された写真家 寺島照夫の写真展として、その生涯において最も大切にしていた東山魁夷との親交からなる写真や、寺島照夫が心に残るものとして自ら厳選した貴重な写真を紹介します。</p> <p><b>2. 内容</b></p> <p>(1) 日 時：令和6年3月2日(土)～24日(日) 休館日：月曜日</p> <p>(2) 場 所：東山魁夷記念館（中山1-16-2）</p> <p>(3) 観覧料：一般900円(720円)                      65歳以上720円、  大学・高校生450円(360円)    中学生以下無料</p> <p>※ ( )内は25人以上の団体料金</p>
<p><b>問い合わせ先</b></p>	<p>文化国際部 東山魁夷記念館    047-333-2011</p>



<p><b>タイトル</b></p>	<p><b>いちかわ真間川堤桜ウィーク2024</b></p>
<p><b>内容</b></p>	<p><b>1. 概要</b>          令和6年3月16日（土）～4月7日（日）を「桜ウィーク」として、期間中、真間川沿いの桜並木に提灯を設置して夜間ライトアップしたり、アイ・リンクタウン展望施設に、「桜フォトスポット」を設置したりして、「桜の名所市川」を発信していきます。</p> <p><b>2. 内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 特設Webサイトを開設し、開花情報などを公開</li> <li>(2) 真間川沿いの桜並木約 2 kmに提灯を設置して夜間ライトアップ</li> <li>(3) 市内商店と協力して、桜にちなんだ商品等を紹介</li> <li>(4) アイ・リンクタウン展望施設に、「桜フォトスポット」や「願いさくら」を設置</li> <li>(5) いちかわ案内人の会による「桜まち歩き」（3/27、4/2予定）</li> <li>(6) 桜にちなんだ「つまみ細工体験会」（3/30予定）</li> <li>(7) JR東日本と協働による「駅からハイキング」（3/22～24予定）</li> </ul> 
<p><b>問い合わせ先</b></p>	<p>いちかわ真間川堤桜まつり実行委員会事務局          （経済観光部 観光振興課内） 047-711-1142</p>

<p><b>タイトル</b></p>	<p><b>江戸川・水フェスタinいちかわ</b></p>
<p><b>内容</b></p>	<p><b>1. 概要</b>          本市の貴重な水辺空間である江戸川において、Eボートレースや水上バイク体験の他、各種アトラクションを通じて、水に親しみながら、水辺環境や自然愛護のこころを育むとともに、地域交流の輪を広げるもの。</p> <p><b>2. 内容</b>          (1) 日時：令和6年6月1日（土）9時～14時30分（予定）          (2) 場所：江戸川及び河川敷（市川緊急用船着場周辺）          (3) アトラクション：Eボートレース、水上バイク体験、人命救助デモンストレーション          売店、グラウンドゴルフ、ペタンク、モルック、スーパーボールすくい など          (4) 参加者数：約3,000名</p> <p><b>3. Eボートレース参加チーム募集</b>          (1) 対象・人数：24チーム（1チーム10人）申込順          （※1チーム大人3人以上、子供は小学生以上）          (2) 費用：1チーム 6,000円（保険料含む）          (3) 申込方法：令和6年4月17日（水）までに指定の参加申込書を          郵送、公園緑地課へ持参、またはFax、メールにて提出</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>
<p><b>問い合わせ先</b></p>	<p>街づくり部 公園緑地課 047-712-8597</p>

<b>タイトル</b>	<b>第40回市川市民納涼花火大会</b>
<b>内容</b>	<p><b>1. 概要</b> 市民に憩いの場を提供し、ふるさと意識の高揚を図ることを目的として、江戸川区と同時開催されます。</p> <p><b>2. 開催日</b> 令和6年8月24日（土）</p> <p>※例年、8月第1週の土曜日に開催している花火大会について、令和6年に限り、第4週の8月24日（土）の開催とすることが決定しました。</p> <p><b>3. その他</b> 事業概要や有料席チケットなどの詳細は、4月以降に開催される実行委員会で決まり次第お知らせします。</p> 
<b>問い合わせ先</b>	市川市民納涼花火大会実行委員会事務局 （経済観光部 観光振興課内） 047-712-1142